導入事例 013

2009トカラ皆既日食

wrappon × Environment 環境

悪石島キャンプ場の様子

貴重な水資源を守るために私たちにできたコト。

ラップポンがえらばれた理由

2009年7月22日、鹿児島県十島村トカラ列島で今世紀最大といわれる天体ショーが観測されました。日本国内では実に46年ぶりの皆既日食で、天体観測史上最長の6分25秒の観測時間を誇り、世界中のメディアが注目しました。

屋久島と奄美大島の間、7つの有人島と5つの無人島で構成されるトカラ列島は日本有数の自然がそのままに残る島々です。皆既日食では、1000名を超えるツアー客やスタッフが来島することで、水や電気などのライフラインの確保が重要な課題となっていました。そこで、水を一切使わずに、臭いの問題もなく、設置が容易なことから『ラップポン・トレッカー』がオフィシャルトイレとして十島村役場に選定されました。

トカラ列島 悪石島

特殊な環境においてこそラップポンの機能が活かせる

梅雨明けの雨不足から、現地の水源は日増しに減少し、皆既日食当日を迎えるにあたり水の確保が最大の焦点となったままツアー客受け入れが始まりました。来島者は報道関係者やスタッフも含め全ての方に『ラップポンの使い方を』レクチャーし、水を使わずとも水洗トイレのように快適に利用いただけることをご紹介しました。

現地にてラップポン説明会の様子

ひとり1日5本(500ml)支給される飲料水以外は水の使用が制限されていた中、ラップポンの利用者からは、「臭いが気にならない」「快適だった」などの声が相次ぎました。

今回、トカラ皆既日食を応援することで、公共トイレの衛生環境の大切さ、さらには特殊な環境においてこそラップポンの機能が活かせるということが実証されました。

悪石島小中学校にて

導入商品

TREKKER
ラップポン・トレッカー

十島村役場

村役場住所　〒892-0822 鹿児島市泉町14番15号
人口　626人(推計人口、2010年2月1日)
概要　十島村は、屋久島と奄美大島の間に、有人七島と無人島五島からなる南北約160kmという「南北に長い村」です。火山の島、珊瑚礁の島、温泉の島とそれぞれに特色を持つ無垢の自然と、大和・琉球の両文化の影響を受けた特有の文化を有し、人情豊かな人の輪が脈々と息づいています。

ラップポン セイフティーコール Free Call 0120-208-718 (ニオワ ナイワ)
http://www.wrappon.com
E-mail:kaigo@nihonsafety.com

資料ご希望の方は、フリーダイヤル・メール・ホームページからお気軽にどうぞ

日本セイフティー株式会社 ラップポン事業部 〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-11